

1トする。10年下期(7月~12月)は前期比10%程度値上げされたが、世界の肥料需要は引き続き高い伸びを示しており、カンボジアは上期より下期まで値上げを迫るとみられる。11月に具体的金額が提示される模様で、今年末には最終決着する意向だ。

需要が減少。塩化カリの国際価格は半落に転じ、カンボジアの日本向け価格は09年下期、10年上期と下期連続で値下げとなった。しかし今年に入ってから世界的に肥料需要が回復したことで塩化カリの国際価格は値上げに転じ、10年下期の日本向け価格は約10%値上

に回復。世界的に塩化カリの流通在庫は低気味であり、穀物価格も上昇傾向にある。これから栽培期を迎えるアジアなど南半球での肥料需要は引き続きおと躍、塩化カリの需要は増大しており、9月1日にはロシアの塩化カリサプライヤーがスポット価格は10%値

アクソ
自動車の補修用塗料を強化
アソノノベルは、中国の大手自動車補修用塗料メーカーを買収した。買収額は明らかにしていない。アクソは、中国の売上高を5年

以内現在の2倍の30億に引き上げる目標を掲げており、今回の買収はこの戦略の一環。アソノノベルが買収したのは、中国のプレミアムカーや商業車といった中間

限公司(本社・江蘇省)自動車補修用塗料の開発、製造、販売、物流を展開している。アクソは、中国のプレミアムカーや商業車といった中間

4種類の樹脂を併用している。UV硬化樹脂の硬化剤、UVランプの保守や強力脱脂のクリー

超濃縮タイプ
アルベスは脱脂力に優れたクリーニング用洗剤の販売を強化する。作

日本中央研究所

日本中央研究所の遮熱 化学工業が共同出資して塗料「アドグリーンコー」(商品名)は、アドマテックス(愛知県みよし市)との共同開発品。ア用されているが、アドマテックスは、トヨタ、リンコートと、これと自動車ベンチャー企業 異なる、アドマテックス第1号で、トヨタと信越 が開発した真珠状無孔質

日本中央研究所(東京都町田区、町中森弘社長、電話03-3599-0441)は、屋根、外壁用の水系遮熱塗料の拡販を進めている。原料「シャープ」な粒度分布を持つ真珠微粒子状の無孔質「ファインセラミックス」を用いており、太陽光熱を遮断し、熱たまりを解消。建物全体のクールダウン効果で省エネを実現する。このほか大手自動車部品メーカーの工場に塗布、職場環境の向上、経費削減、作業効率向上など多くのメリットを確認した。このほか大型物件の引き合いも増え、代理店網も営業体制を突する。

建物全体をクールダウン

ファインセラミックス エアを得ている。このは(原料名「アドマファイ」を用いている。アドマファイは、金属ケイ素やアルミシートの金属粉末を、燃焼現象を利用して「酸化」して作られる。無孔質であるため水気量が少なく、粒子同士の凝着がないため分散性が良好。また、粒度分布もシャープで配合シロロルが容易といった特性がある。すでにEPC工場の薄型半導体の封止材向けとして世界的に高

無孔質「ファインセラミックス」
「アドマファイ」を用いている。アドマファイは、金属ケイ素やアルミシートの金属粉末を、燃焼現象を利用して「酸化」して作られる。無孔質であるため水気量が少なく、粒子同士の凝着がないため分散性が良好。また、粒度分布もシャープで配合シロロルが容易といった特性がある。すでにEPC工場の薄型半導体の封止材向けとして世界的に高

独自の水系遮熱塗料拡販



車部品工場屋根で採用

施工した自動車部品工場(下)と屋根

包装フィルム、塗料材料が多様な分野の先端材料に配合されている。遮熱塗料のアドグリーンコートは2005年に商品化。その後、国土交通省「新技術情報システム(NPITS)」に登録。東京都「クールーフ推進協議会」から高反射率塗料に認定された。環境省環境技術実証事業や東京都中小企業振興公社「ニューマーケット」支援対象商品として、それぞれ登録される少額融資を得ている。工場、倉庫、事務所、コンテナ、船舶一般住宅が幅広い分野に実績を積み重ねた。太陽光の反射と並行して、反射しきれなかった熱線も遮断する。また、洋上石油備蓄基地、包材加工センターからも受注している。

昇を防ぎ、日没後の熱のほてりを解消。ソーラーパネルの発電効率を高める効果もある。屋根・壁・窓をトータルで遮熱対策することで夏冬ともにエアコンの温度設定を軽減でき、省エネ効果が高い。職場環境改善にもなる作業効率のアップにもつながる。例えば1万平方メートルの屋根に塗布した場合、屋根からの侵入熱量を約30%カットできたとのデータもある。最近の大型物件では自動車部品メーカーの工場(8800平方メートル)を施工。その後1万2000平方メートルの追加見積もも来ている。また、洋上石油備蓄基地、包材加工センターからも受注している。